

実行委員会 2025年7月 現在			後 援		
【委員長】	前川 徹	東京通信大学 情報マネジメント学部 教授	●経済産業省	●公益社団法人 経済同友会	●一般社団法人 国際標準化協議会
	【委員】 相見 健司	公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会 主幹			
	木澤 正	高圧ガス保安協会 ISO審査センター 調査役			
	越川 哲哉	一般社団法人 日本鉄鋼連盟 標準化センター事務局 事務局長			
	高橋 徹	公益財団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 元理事			
	富岡 伸一	サントリーマーケティング＆コマース株式会社 品質保証推進部 技術顧問	●国土交通省	●国立研究開発法人 産業技術総合研究所	●JIS登録認証機関協議会
	中野 奈津美	株式会社高島屋 企画本部 高島屋史料館担当部長			
	根本 明欣	住友化学株式会社 レスボンシブルケア部(品質保証) 担当部長			
	福永 敬一	一般財団法人 日本規格協会 JSAグローバルリサーチセンター所長			
	星川 安之	公益財団法人 共用品推進機構 専務理事・事務局長			
	村川 賢司	村川技術士事務所 所長	●消費者庁	●国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	●独立行政法人 製品評価技術基盤機構
	矢座 正昭	一般社団法人 日本電機工業会 常務理事			
	山本 宏史	TOTO株式会社 技術本部 生産技術推進部 参与			
	小嶋 誠	経済産業省 イノベーション・環境局 基準認証調査広報室長			
	齋藤 剛	国立研究開発法人産業技術総合研究所 企画本部 知財・標準化推進部 標準化推進室 標準化オフィサー			
【オブザーバー】	齋藤 充	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	●農林水産省	●一般社団法人 日本科学技術連盟	●日本クオリティ協議会
		イノベーション戦略センター(TSC) 標準化・知財ユニット 首席研究員			

協 賛		
●一般財団法人 エンジニアリング協会 ●一般財団法人 化学物質評価研究機構 ●化成工業協会 ●紙バルブ技術協会 ●一般社団法人 火力原子力発電技術協会 ●公益財団法人 共用品推進機構 ●一般社団法人 軽金属製品協会 ●一般財団法人 建材試験センター ●高圧ガス保安協会 ●一般社団法人 産業環境管理協会 ●JIS懇話会 ●公益社団法人 自動車技術会 ●公益社団法人 消費者関連専門家会議 ●一般社団法人 情報科学技術協会 ●一般社団法人 情報処理学会 ●一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 ●ステンレス協会 ●公益社団法人 精密工学会 ●一般社団法人 セーフティグローバル推進機構 ●公益社団法人 石油学会 ●石油連盟 ●一般社団法人 セメント協会 ●全国生コンクリート工業組合連合会 ●公益財団法人 鉄道総合技術研究所 ●一般財団法人 電気安全環境研究所	●一般社団法人 電気学会 ●一般社団法人 電子情報技術産業協会 ●一般社団法人 電子情報通信学会 ●一般社団法人 電池工業会 ●一般社団法人 日本アルミニウム協会 ●一般財団法人 日本ウエザリングテストセンター ●一般社団法人 日本運搬車両機器協会 ●一般社団法人 日本エネルギー学会 ●公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 ●一般社団法人 日本化学工業協会 ●一般社団法人 日本環境測定分析協会 ●一般社団法人 日本機械学会 ●日本金属継手協会 ●一般社団法人 日本金属熱処理工業会 ●一般社団法人 日本クレーン協会 ●公益社団法人 日本経営工学会 ●一般社団法人 日本計量機器工業連合会 ●一般社団法人 日本計量振興協会 ●日本水晶デバイス工業会 ●公益社団法人 日本下水道協会 ●一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会 ●一般社団法人 日本建設業連合会 ●一般社団法人 日本航空宇宙工業会 ●一般社団法人 日本工作機械工業会 ●一般社団法人 日本工作機器工業会	●一般社団法人 日本ゴム工業会 ●公益社団法人 日本材料学会 ●一般社団法人 日本産業機械工業会 ●一般社団法人 日本産業車両協会 ●一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 ●一般社団法人 日本照明工業会 ●公益社団法人 日本食品衛生学会 ●公益社団法人 日本食品衛生協会 ●一般社団法人 日本伸銅協会 ●公益社団法人 日本水道協会 ●公益社団法人 日本設計工学会 ●公益社団法人 日本騒音制御工学会 ●一般社団法人 日本塑性加工学会 ●日本暖房機器工業会 ●一般社団法人 日本鉄鋼協会 ●一般社団法人 日本鉄鋼連盟 ●一般社団法人 日本鉄道車輛工業会 ●一般社団法人 日本電気協会 ●一般社団法人 日本電気計測器工業会 ●一般社団法人 日本電機工業会 ●一般社団法人 日本電気制御機器工業会 ●一般社団法人 電気設備学会 ●一般社団法人 日本電線工業会 ●一般社団法人 日本時計協会 ●一般社団法人 日本トライボロジー学会

一般申込	
11,000円(税込)	
維持会員の方	
ご加入1口につき1名様	無 料 ※8月上旬頃に招待のご案内をいたします。
口数以上のお申込	5,500円(税込)／1名様

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日にちまでにお振込ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

維持会員のご案内	
維持会員制度は、当協会の事業目的に対してご理解いただける方に、私どもが取組む標準化推進活動をご支援いただくための制度です。当協会は、会員の皆さまとのコミュニケーションを深め、会員の皆さまから、より一層のご支援が得られるような活動に取組んでまいります。皆さまの維持会員制度へのご参加を、お待ち申し上げております。	詳しくは JSA Webdeskを ご覧ください。 
[会費] 1口につき年額2万円(不課税)	
[特典] ●特別割引にて規格をご購入いただけます。 ●当協会主催の品質管理及び標準化に関する講習会・セミナーに特別割引にてご参加いただけます。 ●当協会主催の「標準化と品質管理全国／地区大会」に1口につき1名様を無料でご招待いたします。 ●JSA Webdesk 維持会員専用サービスがご利用いただけます。	

お申込はWEBで

SQ 大会 2025

検 索



<https://webdesk.jsa.or.jp/>

産業標準化推進月間事業

標準化と品質管理

全国大会 2025

持続可能な未来社会をデザインする ー 実現のカギはルールメイキングとデジタル革新 ー

標準化と品質管理全国・地区大会は、幅広い分野から多彩な講師をお招きし、毎年10月に開催しております。

各組織の標準や品質に関わる取組みや最新動向、戦略などを幅広くご紹介いたします。

是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

全国大会(東京)
10月14日(火) 9:50~17:40
(終了後、意見交換会・懇親会を実施予定)

都市センターホテル

産業標準化事業表彰 表彰式及び特別講演会

10月21日(火) / 都市センターホテル

会 場

都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1

アクセス

- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅
4番・5番出口より徒歩約4分、9b番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 有楽町線「麹町」駅 半蔵門方面1番出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅 D出口より徒歩約8分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

お申し込みされた方は、後日、講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。

標準化と品質管理全国大会 2025 プログラム

9:50 ～ 10:00	主催者挨拶・開会宣言
基調講演Ⅰ	
経済産業省講演	
10:00 ～ 10:40	準備中
基調講演Ⅱ	
大阪・関西万博を通じての国際標準化連携の 仲間づくりと日本のリーダーシップ	
10:40 ～ 11:10	一般社団法人 セーフティグローバル推進機構(IGSAP) 理事 藤田 俊弘
国際標準化活動を通じて日本発産業創成を実現するためには、オープン＆クローズ戦略の「オープン」の範囲をグローバルに可能な限り拡大することが重要と考えます。そこで「安全・健康・ウェルビーイング」という分野における次世代産業創成を日本リードで推進する起爆剤となるように、多くの国際機関・企業と連携して大阪・関西万博で実行したGISHW活動内容を報告します。是非多くの皆様にこれからの万博レガシー活動へ参画頂きたく展望を述べたいと思います。	
基調講演Ⅲ	
品質保証の視点から考える ー TQMによる経営基盤の強化	
11:10 ～ 11:40	一般社団法人 品質工学会 代表理事 会長(コマツ技術顧問) 佐藤 吉治
昨今、国内外の状況はこれまで以上に不確実性が増し、企業にとって厳しい経営環境が続いています。このような困難な時期にこそ、改めてTQM(総合的品質管理)の重要性を再認識すべきと考えています。私は建設機械メーカーの品質保証本部長として全部門の品質管理を統括する中で、企業体質や経営者に求められる姿勢について多くの知見を得ることができました。本講演ではその中で得た教訓について具体例を交え紹介します。	
11:45 ～ 12:05	標準化貢献賞表彰式

13:00 ～ 13:50	一般 標準、ルール形成戦略
	企業ビジネスに活かすルールづくりとしての標準化戦略
	東京科学大学 アントレプレナーシップ教育機構 キャリア教育実施室 特任教授 和泉 章
	標準化は、技術的な仕様を決めることだけではなく、新たな市場の開拓や、既に存在する市場の拡大に貢献できる、誰もが参加できるルールづくりのツールです。企業ビジネスにおいては、事業戦略、知的財産戦略と標準化戦略を一体的に取り組むことが重要です。講演では、企業ビジネスにおいて具体的に標準化をどのように活用すべきかについてお話をします。
14:10 ～ 15:00	管理職層 標準、環境
	鉄鋼製品におけるカーボンニュートラル2050 実現に向けたGXスチール市場形成の 取り組み
	日本製鉄株式会社 技術総括部 部長代理 礪原 豊司雄
	鉄鋼業は2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、石炭から水素への還元材の転換、スクラップの高度利用などの大変革を迎えています。また、これらの技術革新を支援するため、削減実績量を配分したGXスチールの市場形成に向けた取り組みも官民で行われています。本講演では、これらの動向について、国内外の最新の動きを説明します。
15:20 ～ 16:10	パネルディスカッション サーキュラーエコノミーにおける 欧州規制と日本の機会
	サーキュラーエコノミー(CE)とは、従来の3Rの活動に加え、資源を効率的に循環利用することで、廃棄物を減らし、持続可能な社会を目指す経済活動のこと。あらゆる組織が取り組むべき重要な課題です。本パネルディスカッションでは、一流の専門家の方々に、最新の欧州法規制の動向と標準化の関連や、キー要素となる標準化・規制・認証の活用、欧州の動向を踏まえた日本型CEビジネスの道筋など、幅広く議論いただきます。
	<ファシリテーター> 東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授 村上 進亮
	<パネリスト(順不同)> 一般社団法人日本電機工業会 統括主幹(地球環境政策担当) 齋藤 潔
16:30 ～ 17:20	東洋大学 情報連携学部 情報連携学科 教授 廣瀬 弥生
	一般財団法人日欧産業協力センター シニアリサーチフェロー 新開 裕子
	パナソニックホールディングス株式会社 MI本部 兼 パナソニックETソリューションズ株式会社 CEエキスパート 田島 章男
	物価高や人手不足、デジタル化の進展など、製造業を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。そのような中でも、JISマーク製品の信頼性を確保し、品質を維持することは、社会に安全・安心を提供する上で欠かせない役割を果たします。今回のプログラムでは、JIS認証における最新情報や、審査現場での指導事例、是正内容を共有し、適切な品質管理の維持に向けた具体的なヒントを提供します。効率化を図りながらも、揺るぎない品質管理を実現するための一助となれば幸いです。

【聴講対象】	
一般	一般・入門・学生
経営層	経営層
管理職層	管理職層
専門家	専門家(品質管理・設計・開発・営業・標準化)

経営層 標準、新市場
標準化は未来へのパスポート！ 地方発ベンチャーの標準化戦略と社会実装
株式会社mil-kin 代表取締役 / 開発者 狩野 清史
歯周病や食中毒などの社会課題解決を目指し、現場のニーズから着想した顕微鏡を開発しました。そのための近道を模索する中、標準化を知り、「標準化とは」の意義を掘り下げ、開発から社会実装までを見据えた事業戦略に組み込みました。JIS制定により製品の信頼を獲得することで、業界のマニュアルなどにも採用されており、名もない地方のベンチャー企業が、なぜ標準化に挑んだのか、その背景と可能性についてお話します。
専門家 標準、品質
AIの品質マネジメントと標準化について
国立研究開発法人産業技術総合研究所 知財標準化推進部 標準化オフィサー 妹尾 義樹
生成AIを含むAIの活用が話題となっていますが、一方で品質や安全性への不安が多様な応用分野での一層の普及を阻害しています。AIの品質マネジメントについての課題と、それを解決するための先端の取り組みについて国際標準化の状況や欧州AI法制などの状況を含めて紹介します。また生成AIを含むAIの品質マネジメントの方法論について、産総研機械学習品質マネジメントガイドラインの内容を中心に説明します。

一般 デジタル、働き方改革、モノづくり革新
SUBARUにおけるDX戦略と働き方改革
株式会社SUBARU 執行役員 CIO(最高情報責任者) IT戦略本部長 辻 裕里
100年に一度の大変革期にある自動車業界で、世界シェア1%ながら技術力を強みに個性あるクルマづくりに取り組んできたSUBARUが、「笑顔をつくる会社」の実現に向け企業体質の変革に挑戦しています。コロナを契機としたデジタル化やITを基軸とした働き方改革、情報子会社の統合などDXの基盤づくりを進めるとともに、新経営体制方針「モノづくり革新と価値づくり」を支えるIT/DX戦略についてもご紹介いたします。

管理職層 JISマーク、品質、審査
JISマーク表示制度 ～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～
JIS登録認証機関協議会 公益社団法人 日本水道協会 検査部 検査課長 坂本 貴之
物価高や人手不足、デジタル化の進展など、製造業を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。そのような中でも、JISマーク製品の信頼性を確保し、品質を維持することは、社会に安全・安心を提供する上で欠かせない役割を果たします。今回のプログラムでは、JIS認証における最新情報や、審査現場での指導事例、是正内容を共有し、適切な品質管理の維持に向けた具体的なヒントを提供します。効率化を図りながらも、揺るぎない品質管理を実現するための一助となれば幸いです。

意見交換会・懇親会	参加者、講演者、主催者の交流を目的に実施いたします。ぜひご参加ください。
-----------	--------------------------------------

ご注意	
●講演時間・講演タイトル・講演者・会場は都合により変更する場合があります。	
●最新のプログラムは、当会Webサイト(https://webdesk.jsa.or.jp)をご参照ください。	
●各講演は事前予約制ではありません。当日、ご自由に講演をお選びいただくことができます。	
●会場によって満員となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。	
●お申し込みされた方は、後日、講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。	
●報文集は紙での提供はいたしません。必要に応じてダウンロード・印刷してご持参ください。	
●ライブ配信は行いません。	

管理職層 品質、SDGs、安全
「アソビへ懸ける品質は、世界を健やかに、賑やかにできる。」タカラトミーグループの"アソビに懸ける品質"
アーカイブ動画なし 株式会社タカラトミー サステナビリティ推進室 室長 谷村 美奈
「おもちゃ」における安心・安全な品質という枠にとどまらず、「アソビ」という体験を通して、社会性や倫理観、想像力や冒険心、感性やひととの絆まで届けられるものこそ、わたしたちが目指すべき"品質"です。そんなタカラトミーグループの"アソビに懸ける品質"が世界中のひとを健やかに、社会を賑やかにしていくことに繋がると信じています。その活動の一部をご紹介します。
管理職層 サービス産業、品質
「お客様の声」の徹底した見える化による顧客満足度向上の仕組みづくりー「CS向上のための架け橋」を創るー ^{スカイマーク株式会社CS推進室}
室長 戸田 健太郎 副室長 井上 弥緑
顧客満足度の向上には顧客の感動が必要不可欠です。マニュアルどりの対応では顧客感動は生まれません。現場でスタッフが「自由に楽しく自発的に」行動できるように「仕組み」が必要です。我々は「KKD(勤と経験と度胸)」による判断」から脱却し、顧客のニーズを正確に把握するため「数値による見える化」で顧客満足度の向上に取り組んでいます。

一般 標準、安全、信頼性技術
JR東日本における鉄道の安全性向上と 国際標準化活動への取り組み
東日本旅客鉄道株式会社 国際事業本部 標準化戦略・推進部門 マネージャー 服部 鉄範
鉄道輸送において大切なのは安全・安定輸送であると言われますが、その根幹を支える日本の安全性・信頼性技術は、鉄道発祥の時代から積み上げられてきたものです。一方で世界的な状況では、欧州を中心とした標準化の流れが顕著で、国際規格等に適合した技術が求められており、標準化への対応が必要になってきています。本講演ではJR東日本における鉄道の安全性向上と国際標準化活動に関する取り組みについてご紹介いたします。

経営層 SDGs、品質保証、環境
守りも、攻めも、イノベーション ～キリンの人的資本経営、未来への挑戦～
アーカイブ動画なし キリンホールディングス株式会社 取締役副社長 CPO 坪井 純子
企業はイノベーションなくして生き残れない時代。CSV経営を推進するキリングループでは、守りと攻めの両面で、今日より明日へ常に新しさを加えて進化することをイノベーションと捉え、人材を価値創造の源泉と位置付けています。本講演では、専門性と多様性を兼ね備えるキリンならではの人的資本戦略、Well-being、多様な価値観を受容する組織文化醸成を通じて、持続的な価値創造を目指す未来への挑戦についてお話しします。

一般 品質、根本原因分析(RCA)、事故、品質トラブル、品質不正
根本原因分析(RCA) ー人の不適切な行動とその未然防止活動
筑波大学 システム情報系・教授 根本原因分析(RCA)の指針 原案作成委員会 委員 伊藤 誠
事故・トラブル・不正が発生した場合又は発生する恐れがある場合、起因となった個別の原因を見つけて取り除くことに加え、未然防止活動の弱さを追究し、その改善を図ることが大切です。このような分析は、根本原因分析(RCA)と呼ばれます。本講演では、日本品質管理学会規格としてまとめられたRCAの指針をもとに、人の不適切な行動に着目したRCAの考え方や方法について紹介します。
専門家 標準、消費者安全、リスクマネジメント
消費者事故の再発防止のためにー ISO 5665 消費者事故調査 ー要求事項とガイダンス
主婦連合会 会長 河村 真紀子
2024年4月、「ISO 5665消費者事故調査～要求事項とガイダンス」が発行されました。これは日本の消費者団体が提案した初めての国際標準であり、消費者事故について、再発防止を目的とする事故調査を実施するための要求事項及び推奨事項を規定しています。ISO 5665は消費者団体、航空機パイロットの団体、被害者遺族、弁護士等からなるグループによる、事故調査のあるべき姿の学習と議論の積み重ねから生まれました。

一般 SDGs、サービス、品質
京町家の生活は始末から ～「おばんざい」など庶民生活は伝統的なSDGs～
公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 常務理事 杉本 節子
重要文化財の杉本家住宅は、明治3年築の市内最大規模の京町家です。杉本家は、江戸期寛保年間に京呉服商を創業、千業に店をおき、京ブランド商法で財を成しました。同家には天保年間に書かれた暮らしの備忘録「歳中覚」が伝わっており、そこには質素倹約した京商家の暮らしがみとれます。京の普段のおかず「おばんざい」、京のぶぶ漬けといった京都人の伝統的な食のならわしを古文書を紐解きながら紹介します。

相談コーナー
10:00
～
16:30
標準化に関する相談ブース(無料)を開設いたします。規格の作成にご興味のある方など、お気軽にお立ち寄りください。